

[略歴]

- 1980年 東京芸術大学油絵科卒 大橋賞受賞
- 1982年 東京芸術大学大学院卒
- 1987年 フランス政府給費留学生として渡仏。

[受賞歴]

- 1993年 ル・サロン アーティストフランセ (パリ) 銅賞 (銅版画)
サンテニヤン市 サロン インターナショナル 金賞 (銅版画)
- 1994年 ムクロン市 (ベルギー) アートトリエンナール11回展 銀賞 審査員賞 (絵画)
コクシッド市 (ベルギー) サロン インターナショナル 銅賞 (銅版画)
- 1995年 コクシッド市 (ベルギー) サロン インターナショナル 銀賞 (銅版画)
- 1996年 ムクロン市 (ベルギー) アートトリエンナール12回展 銀賞
アルコソフト賞 (銅版画)
- 2003年 バルドール市 サロン インターナショナル 抽象画賞 (絵画)
- 2005年 ル・サロン アーティストフランセ (パリ) 銀賞 (銅版画)

[最近の展覧会]

- 2013年 エクスポジャパンスッド・領事館後援
CONSUL'ARTマルセイユ市主催
マルセイユ文化都市企画国際展 日本代表
- 2014年 ギャラリーコンセプト21 (東京港区)
- 2016年 ギャラリーコンセプト21 (東京港区)
- 2018年 ギャラリーコンセプト21 (東京港区)
- 2020年 ギャラリーコンセプト21 (東京港区)
- 2022年 ギャラリーコンセプト21 (東京港区)
- 1995年～1999年 モントリオール・ケベック版画協会会



“プリュージュ 初秋の運河沿い”



“トローネ郊外の向日葵畑”



“初夏のミラボー通り エクスアンプロヴァンス”



“エクス郊外のアーモンド畑-2”



野澤 好夫 展 (画廊企画展)

EXHIBITION YOSHIO NOZAWA 2024
3月14日(木)～3月28日(木) 11:00a.m. - 7:00p.m.

Gallery Concept 21
〒107-0061
東京都港区北青山 3-15-16
Tel. & Fax. 03-3406-0466
URL <http://www.g-concept21.com>
E-mail galler@bridge.ocn.ne.jp



EXHIBITION
YOSHIO NOZAWA

2024
3月14日(木)～3月28日(木)

Gallery Concept 21
[ギャラリー コンセプト 21]

2014年個展によせて

野澤画伯とのご縁は15年前の私の失敗談に始まる。2008年の秋、私も建築家の端くれとして20世紀を代表する最高の建築家 ル・コルビジェの作品を訪ねるツアーに参加してフランスを訪れた。

その時マルセイユの現地のガイドを努めて下さったのが野澤好夫さんだった、私は初日に泊まったホテルに携帯電話を忘れる大失態を演じてしまった。大丈夫です私が来春日本で個展を計画していますので持ち帰ります、野澤さんの慰めの言葉から今日がある。

縁とは不思議なもので、その個展の場所が私の事務所のすぐ近くの「ギャラリーコンセプト21」だったのである。以後隔年に催される野澤さんの個展を楽しみにしてきた。最初の頃は版画を良くしていらしたが、10年位前から南仏プロバンスの空を海を 光を風を 明るく描かれるようになった。

2016年の個展に、5月のフランスの野を赤く染めるコクリコの絵を持ち帰られた。絵を見た瞬間に、

「ああ皐月 仏蘭西の野は 火の色す
君も雛罌粟 われも雛罌粟」

あなたが情熱の人なら私も赤い血を滾らす情熱の塊よと、シベリア鉄道に乗って三千里、鉄幹の許に駆けつけた晶子のあの短歌が浮かんだ。

2016年は私が恩師(故)佐藤武夫(早大名誉教授、大隈講堂設計者)の許をまだ早いとの叱責を受けながら独立して50年目の記念すべき年だった。躊躇なく自分の手元に置こうと思った。

私も、ものを創造することを職業としてきた者の端くれである、情熱こそが世に新しいものを生み出す原動力と信じている。努力はなにくその怒りの力、怒りの力からは所詮大したもの生まれ、悦びの力を生み出すものそれは情熱だろう。かの地にあって画業40年、野澤画伯も当然情熱の人である。

古いフランスの映画に造詣が深い、話し出したら止まらない野澤さんが好きだ。

2024年どんな絵が プロバンスの風を光を 時を空気を持ち帰ってくれるか、楽しみに待とう。

伊達 博充 (核建築設計事務所 代表)



“地中海の夏 マルセイユ沖”



“プリュージュの秋-2”



“庭から-1”



“エクス郊外のアーモンド”



“地中海マルセイユ沖航行中の帆船エルミヨン”